

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成24年11月15日 (2012.11.15)

【公表番号】特表2009-545761(P2009-545761A)

【公表日】平成21年12月24日 (2009.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2009-051

【出願番号】特願2009-522178(P2009-522178)

【国際特許分類】

G 0 2 B 27/22 (2006.01)

G 0 2 C 9/00 (2006.01)

G 0 2 C 7/02 (2006.01)

H 0 4 N 5/64 (2006.01)

H 0 4 N 13/04 (2006.01)

G 0 2 B 27/02 (2006.01)

G 0 2 C 7/16 (2006.01)

A 6 1 B 19/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 27/22

G 0 2 C 9/00

G 0 2 C 7/02

H 0 4 N 5/64 5 1 1 A

H 0 4 N 13/04

G 0 2 B 27/02 Z

G 0 2 C 7/16

A 6 1 B 19/00 5 0 2

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年9月21日 (2012.9.21)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

眼鏡 (1 0) であって、

それぞれが上側部分 (1 2 a 、 1 4 a) 及び下側部分 (1 2 b 、 1 4 b) を有する 2 つの分割された視覚要素 (1 2 、 1 4) であって、前記上側部分 (1 2 a 、 1 4 a) には、画像を左眼及び / 又は右眼に選択的に方向付ける手段が設けられ、前記 2 つの下側部分 (1 2 b 、 1 4 b) は、1 対の拡大鏡を含む通常のメガネとして構成されている、2 つの分割された視覚要素 (1 2 、 1 4) を備える、眼鏡。

【請求項 2】

眼鏡 (1 0) であって、前記手段は、LCD シャッタメガネ、光学的に偏光されたメガネ、レッドグリーンメガネとして、又はディスプレイユニットとして構成される、請求項 1 に記載の眼鏡。

【請求項 3】

眼鏡 (1 0) であって、前記ディスプレイユニットは、LCD ディスプレイ、レーザ投影ディスプレイ、又は網膜走査装置から選択される、請求項 2 に記載の眼鏡。

【請求項 4】

眼鏡（１０）であって、前記２つの視覚要素（１２、１４）を接続する鼻支持部（１６）と、該視覚要素に枢動可能に接続される１対のアーム（１８、２０）とをさらに備える、請求項１～３のいずれか１項に記載の眼鏡。

【請求項５】

眼鏡（１０）であって、前記２つの視覚要素（１２、１４）の前記上側部分（１２ a、１４ a）及び／又は前記下側部分（１２ b、１４ b）は、屈折異常を補償するために光学的に補正される、請求項１～４のいずれか１項に記載の眼鏡。

【請求項６】

眼鏡（１０）であって、照明手段をさらに備える、請求項１～５のいずれか１項に記載の眼鏡。

【請求項７】

請求項１～６のいずれか１項に記載の眼鏡（１０）と、別個のディスプレイ装置とを含むシステム。

【請求項８】

前記ディスプレイ装置は、対象の物体の少なくとも２つの画像を提供するように構成される、請求項７に記載のシステム。

【請求項９】

前記眼鏡（１０）及び前記ディスプレイ装置を制御する制御手段をさらに含む、請求項７又は８に記載のシステム。

【請求項１０】

前記ディスプレイ装置は立体視モニタである、請求項７又は９に記載のシステム。

【誤訳訂正２】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００１２

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００１２】

本発明の眼鏡によって、医療専門家は、メガネを切り替える必要なく、対象の物体の拡大画像及びその３次元画像を得ることが有利である。この態様は時間を節減し、また、無菌状態に関する問題に関しても非常に有益である。